

## 豊田将樹選手のコメント

---

この度、日本スポーツ仲裁機構（JSAA）のスポーツ仲裁パネルより、2024年1月5日付けの日本アンチ・ドーピング規律パネルによる決定内容である「アンチ・ドーピング規則違反として、2022年5月21日を開始日とする2年間の資格停止」を支持する旨の判断が下されました。多くの関係者の皆様にご迷惑、ご心配をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

日本アンチ・ドーピング機構（JADA）より、私に対してドーピング違反の通知があったのは2022年6月でした。私自身に禁止物質を意図的に摂取したという認識は一切なく、その後1年半以上にわたり、多くの方々のご協力を得て、そのことを証明すべく取り組んで参りました。その結果、間接的ではありますが、意図的ではないことを立証するための多くの事実を積み重ねることができ、本年1月5日、日本アンチ・ドーピング規律パネルより、原則4年間の資格停止期間が短縮された形で、2年間の資格停止の決定が下されました。その後、JADAよりJSAAに対して不服申立てがなされましたが、今般、本年1月5日の上記決定内容を支持すると判断されました。

最初に違反の通知を受け取って以降は暫定的な資格停止となったため、大会に出場できないだけでなく、チームメンバー等とも練習ができない日々が続きました。限られた関係者としてしか現状をやりとりできず、また、意図的でないことを直接的に立証する材料が見つからない中で、この1年9か月間、非常に辛い時期もありました。また、本年1月5日に日本アンチ・ドーピング規律パネルの決定連絡を受け取った際は、ようやく長いトンネルから抜け出せるという安堵の気持ちになったものの、その3週間後には不服申立てがなされ、精神的にかなり落ち込みました。しかし、最初の通知から今回のスポーツ仲裁パネルの判断に至るまで、家族をはじめチーム関係者、恩師、弁護士の先生方に支えていただき、何とか乗り越えることができました。

今後は気持ちを新たに練習に取り組み、資格停止期間終了後にできるだけ早く復帰したいと考えています。今年はパリ2024オリンピックがあり、短期間ではありますが、出場権を獲得できるチャンスが残されています。今回の決定にあたり携わっていただいた方々、そして日頃からご支援、ご声援をいただいている方々に恩返しできるよう、全力で取り組んでいきたいと思っております。併せて、今回の私のような事例が繰り返されることのないよう、競技活動と並行し、微力ではありますがアンチ・ドーピングの啓発活動も行っていきたいと考えています。

今後どうぞよろしくお願いいたします。

2024年4月9日 富士通陸上競技部 豊田 将樹